

出演者プロフィール



©武藤章

ピアノ: **小川典子** Noriko Ogawa, Piano

リーズ国際ピアノコンクール入賞以来30年以上、英国と日本を拠点に世界の主要オーケストラ・指揮者との共演や、室内楽、リサイタル等で世界各国へ演奏旅行を行う他、国際的なコンクールでの審査、各国でのマスタークラスなど、国際的で多彩な活動を展開中。

BISより40枚近いCDを発売。2021年には世界初録音のR.ドゥヴニオン「クライスレリアーナ」、[サティ：ピアノ独奏曲全曲集Vol.4「ルラーシュ・シネマ」]が次々と発売された。2013、14年にはBBCプロムスへ連続出演。その後ポーランド放送響、モスクワ放送響、サンクトペテルブルグ響、BBC響など英国ツアーのソリストとして共演。またイギリス、フランス、ドイツ、ポーランド、韓国を始め数々の音楽祭にも招聘され、リサイタルやマスタークラスを行う。リーズ国際、グリーグ国際、クレーブランド国際コンクール審査員。浜松国際ピアノアカデミー音楽監督。浜松国際ピアノコンクール審査委員長。国際音楽コンクール世界連盟役員。英国ギルドホール音楽院教授。東京音楽大学特任教授。ミュゼ川崎シンフォニーホール・アドバイザー。ジェイミーのコンサート主宰。NAS英国自閉症協会文化大使、イプスウィッチ管弦楽協会名誉パトロン。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞、川崎市文化賞受賞。

2017年11月にはこれまでの貢献をたたえて英国ギルドホール音楽院より「フェロー」の称号が授与された。著書「夢はピアノとともに」。訳書「静けさの中から」。

オフィシャルHP <http://www.norikoogawa.com/>

ホールアドバイザー小川典子企画

歌曲の世界 vol.2

2023年2月25日(土)14:00開演

【出演】 寺田功治(バリトン) 小川典子(ピアノ)

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。

《公演の詳細は8月発表予定》

●感動をもう一度！アーカイブ配信で本日の演奏をお楽しみいただけます。 500円
配信期間：公演翌々日12:00~8/31(水)23:59
配信の詳細はこちら https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/ticket/ticket_online

●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック ●アンケート ●パートナーショップ特典
●アンケート ●パートナーショップ特典
サマーミュージックの特設サイトよりご覧ください。 <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

ミュージゼ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー		ミュージゼ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。			
法人 【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キヤノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェット株式会社 三井不動産グループ 【賛助会員】 税理士法人あおぞら会計 味の素株式会社川崎事業所 株式会社イープラス NTTアドバンステクノロジ株式会社 ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社	川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社ききんでん ケイジーケー株式会社 京浜楽器株式会社 株式会社さいか屋 川崎店 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所	株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 東洋ロザイ株式会社 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ヨドバシカメラ * 大宮町町内会	個人 阿部 孝夫 新井 智彦 市橋信一郎 井上 敏昭 宇佐美清一 遠藤 智和 大塚 具幸 小笠原 将 岡野 功 小野 洋彰 金山 直樹 喜多 純一 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所	後藤 実 小林 知子 斎藤 隆徳 佐伯 昇 佐藤 晴茂 鈴木 甚郎 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高橋 美子 竹内 啓介 都築 豊 中村紀美子 西山 英昭 長谷川喜代江 瀧尾 泰 林 直人 廣瀬 治昇 前田 泉	松本 武巳 山内 利夫 山下 啓史 山田 昌克 A. A D. Y M. C N. A T. Y 他匿名14名

(2022年7月1日現在)

Festa Summer MUZA Kawasaki 2022

フェスタサマーミュージゼ KAWASAKI 2022

ミュージゼ川崎シンフォニーホール

こどもフェスタ 2022 イッツ・ア・ピアノワールド

It's a Piano World

ピアノは楽しい! こどもたちといっしょに

7/31日

出演

ピアノ: **小川典子** Noriko Ogawa, Piano

曲目

11:00
12:00
(途中休憩はありません)

ハイドン: ピアノ・ソナタ第62番から 第3楽章 (4分)

ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」から 第1楽章 (11分)

ドビュッシー: 「版画」から 雨の庭 (3分)

ドビュッシー: 「前奏曲集第2集」から 交代する三度、カノープ、花火 (10分)

グリーグ: 「抒情小品集第5集」から 小人の行進 (3分)

グリーグ: 「抒情小品集第8集」から トロルドハウゲンの結婚式 (6分)

※演奏時間は目安です。
※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

ホール内は小さな音でもよく響きます。ご協力をお願いいたします。

- 演奏中の入退場はご遠慮ください。
- 全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。
- 開演中は携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器は電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。
- 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。
- 許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- 鈴のついたアクセサリー、お荷物など、また、アメの包み紙を開ける際は、演奏中に音が出ないように十分ご注意ください。
- 演奏中の会話はお控えください。
- 曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手をお送りください。
- 館内は飲食禁止となっております(ロビーでの水分補給を除く)。

【補聴器等をお使いの皆さまへ】
ハウリングの発生を避けるために、補聴器等が正しく装着されていることをご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

△ 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。

【お客様へのお願い】

ご協力ください マスクの常時正しい着用 / 手指消毒 / ロビーでのお客様同士の間隔の確保 / 必要最小限の会話 / 終演後の分散退場

ご遠慮ください プラボー等、出演者への声かけ / 出演者への面会、花束・プレゼント

【休止・停止中】

クローク / ドリンクコーナー / 冷水器 / ブラケットの貸し出し
※万一、クラスター(集団感染)の発生が明らかになった場合、保健所等に入場者の情報を提供する場合がございます。 ※新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」や神奈川県LINEコロナお知らせシステムのご登録をお願いいたします。

主催: 川崎市、ミュージゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
後援: 川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA
映像・音響制作: YouClassics
配信協力: 株式会社 ぶらあぼホールディングス、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



ステキなピアノ音楽

文|| 飯田有抄

ウィーンで出会ったハイドンとベートーヴェン

ハイドン: ピアノ・ソナタ第62番から 第3楽章

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」から 第1楽章

最初に登場する二人の作曲家、ハイドン(1732~1809)とベートーヴェン(1770~1827)は親子ほど年齢が離れていて、二人は音楽の都ウィーンで出会い、ハイドンにベートーヴェンが弟子入りした時期もありました。彼らの時代、ピアノという楽器はまだいろんな工夫が加えられている途中で、音量を変えやすくなったり、鍵盤の数が増えたり、どんどん変化していました。今日演奏されるソナタ第62番はハイドンが最後に作ったピアノ・ソナタです。第3楽章では同じ音が素早く繰り返されて、スピーディーに進んでいきます。続くベートーヴェンのピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」第1楽章も、同じ和音が何度も打たれるので、すこし雰囲気似ています。ちなみに、ワルトシュタインというのは、ベートーヴェンがとてもお世話になったお金持ちの貴族の名前で、その人に捧げられた曲です。

ドビュッシーが贈るパリのおしゃれな響き

ドビュッシー: 「版画」から 雨の庭

ドビュッシー: 「前奏曲集第2集」から 交代する三度、カノーブ、花火

次に聴いてもらうのはフランスの作曲家ドビュッシー(1862~1918)です。ドビュッシーの時代にはピアノはだいが今の形に近くなり、いろいろな表現ができるようになりました。「雨の庭」という曲には、フランスの子どもたちに親しまれている「ねんね、ぼうや」と「もう森へは行かないよ」という童謡が使われています。「カノーブ」とは、古代エジプトのミイラを納める壺のことです。「交代する三度」の「三度」とは、かんたんに言うと3つ離れた音のこと。「花火」はフランスの革命記念日をお祝いする花火の様子が描かれていて、おしまいにはフランス国家も聞こえてきます。

妖精の国からグリークの小品を

グリーク: 「抒情小品集第5集」から 小人の行進

グリーク: 「抒情小品集第8集」から トロルドハウゲンの結婚式

最後はノルウェーの作曲家グリーク(1843~1907)の作品です。彼はノルウェーに伝わる民謡のメロディーやリズムを生かして、素朴で愛らしいピアノ曲をたくさん作り、66曲からなる「抒情小品集」にまとめました。今日はその中から、妖精トロールがいたずらっぽく動き回る様子を描いた「小人の行進」、そして、そんなトロールたちの住む丘での華やかな情景を伝える「トロルドハウゲンの結婚式」を聴いてもらいます。グリークは彼の愛する妻ニーナとともに、トロルドハウゲンに建てた可愛らしいお家で、仲良く22年間も暮らしたそうです。

メッセージ

■ 小川典子

ピアノという楽器の可能性を存分にお楽しみあれ!

2年ぶりに「イツ・ア・ピアノワールド」のステージに登場する小川典子さんから本日お越しいただいたお客様へのメッセージです。



©Richard Cannon

フェスタサマーミュージア、イツ・ア・ピアノワールドへ、ようこそお越しくださいました。昨年、私の手首骨折により、仲道祐子さんにご出演いただき、素晴らしい演奏をお楽しみいただきました。本日、こうして皆さんと舞台でお会いできますこと、たいへん嬉しく思います。今日も、ヤングピアニストの皆さん、音楽がお好きな皆さんがお越しくださいました。パワーアップしたプログラムをご紹介します。最初に演奏するハイドン。彼は、イギリスで初めて、強い音・弱い音が出るピアノに出会い、その素晴らしさに感動したそうです。右手が、速い音でクルクルとよく動く様子は、ピアノという楽器の可能性を最大限に活かしています。

ベートーヴェンの「ワルトシュタイン」。この第1楽章は、同じ和音を何度も同じようにたたいて始まる曲です。新しいことに挑戦するベートーヴェンらしいですね。生誕160年のドビュッシー。今日は難しい曲を選びました。梅雨が終わったばかりの私たちに身近な雨の音。それを再現した「雨の庭」。練習曲を思わせるモザイクのような作りの「交代する三度」。最初から最後まで弱い音で演奏される、ミステリアスな「カノーブ」。そして、夏といえば「花火」。大空に広がる花火を思い浮かべてお聴きください。

プログラムの最後は、涼しい風の吹く北欧ノルウェーから、グリーク「抒情小品集」より2曲、お楽しみいただけます。

深い森のなかで夜に歩き回り、いたずらをする北欧のおばけ「トロール」。この曲で「小人」と呼ばれるのは、このトロールのことです。髪がクシャクシャで目が大きなおばけが行進する様子が聞こえてきます。でも太陽の光にあたると、ボンッと破裂してしまいます。

そして、グリークが自身の結婚記念日のために書いた「トロルドハウゲンの結婚式」。水辺から吹くさわやかな風のなかでお祝いする様子を想像してお聴きください。皆さんからのいただいた質問も、大切にお答えします。お楽しみに。